

議会だより

いずみざき No.61

令和6年8月1日発行

輝く未来を子ども達へ



よーいドン!!

花見サイコー!



「土器つくったよ!」まほろん



田植え楽しい!

目次

- 表紙…………… 泉崎第一小学校
- 2～3ページ…… 6月議会定例会の中身は?
- 4～11ページ…… 7名の議員が村政を問う!
- 12～13ページ…… 議会インフォメーション
- 14ページ…………… 編集後記



いずみちゃん

泉崎村HPアドレス : <https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

自転車等放置防止条例可決！

泉崎駅前駐輪場において、長年使用していないと思われる放置自転車が散見され、利用者が駐車スペースを確保できない事案が発生したことから、公共の場所における自転車等の放置を防止し、良好な生活環境の維持を図るため制定されました。



設置された看板



警告札の貼られた自転車



警告札

警告札が取り付けられた後7日間放置すると撤去され、6ヶ月間保管されます。

その後、保管期間中に引き取りのない自転車は処分されます。

児童手当が高校生まで対象に！

議案33号 令和6年度泉崎村一般会計補正予算（第1号）の主な内容

7,495万1千円を追加し、予算総40億9,195万1千円とする

歳入	金額	内容
地方特例交付金	1,306万4千円	所得税3万円、住民税1万円の定額減税として実施されるうちの住民税分が入る
県支出金（農業費県補助金）	481万8千円	農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金
歳出		
システム改修業務委託料	681万5千円	自治体システムの標準化に伴うもの
児童手当システム改修委託料	453万8千円	現在、中学生までが支給対象となっているが高校生までが対象になる為のシステム改修

令和6年第2回6月定例会

会期：6月6日(木)～6月14日(金)

(／：議長は採決に加わりません)

議案番号	議案件名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		可・否	円谷亮一	白石正雄	鈴木義男	木野内悟	加藤恵子	鈴木保仁	安藤茜	長久保孝行	野崎隆	岡部英夫
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（泉崎村税条例の一部を改正する条例） 地方税法等の一部改正に準じて泉崎村税条例の所要の改正の必要があったため専決処分を行い報告する	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
報告第4号	令和5年度泉崎村繰越明許費繰越計算書 令和5年度において繰越明許を設定した一般会計11事業について繰越計算書を報告	報告受理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	／
報告第5号	白河地方土地開発公社経営状況報告について 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、泉崎村が55万円出資している白河地方土地開発公社の事業及び決算について報告	報告受理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	／
議案第30号	泉崎村自転車等放置防止条例 公共の場所における自転車等の放置を防止し、良好な生活環境の維持を図るため新たに条例を制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第31号	泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例 政令の一部改正に準じた賦課限度額及び軽減判定所得の引き上げを行う改正により、泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第32号	泉崎村税条例の一部を改正する条例 地方税法の改正に伴い、令和6年能登半島地震災害の被災者の負担の軽減を図るため、個人住民税の特例措置を講ずる規定を整備するため必要があることから泉崎村税条例の一部を改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第33号	令和6年度泉崎村一般会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第34号	令和6年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ355万1千円を追加し予算総額を歳入歳出それぞれ7億3,939万2千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第35号	令和6年度泉崎村介護保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ83万6千円を減額し予算総額を歳出それぞれ7億272万4千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
発議第2号	『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書について 提出者：経済文教常任委員会委員長	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
発議第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書について 提出者：総務厚生常任委員会委員長	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

報告第4号 令和5年度泉崎村繰越明許費繰越計算書

地方自治法施行令146条第2項の規定により、令和5年度において繰越明許を設定した一般会計11事業について、繰越計算書を報告するもの

地域経済応援事業／均等割世帯支援給付金事業／低所得者等子育て支援給付金事業／新たな非課税等世帯給付金事業／調整給付事業／社会保障・税番号制度システム整備事業／低所得者世帯支援給付金／村道舗装状況調査業務／踏瀬・中新城線道路拡幅測量設計業務／地域防災計画改訂業務委託事業／学校給食センター建設事業

繰越明許費繰越計算書

歳出予算の一部で年度内に性質上又は予算成立後の事由により年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて予算で定めることにより翌年度に繰り越して使用することが認められている経費

一般質問

7人の議員が村政を問う

1. 安藤 茜^{あんどう あかね} 5 ページ
 - ・物価高騰対応
 - ・中学校グラウンド脇の通路その後は？
2. 加藤 恵子^{かとう けいこ} 6 ページ
 - ・八雲ニュータウン歩道設置の進捗状況は？
 - ・不妊治療助成金足りているのか？拡充を。
 - ・ごみ置場の問題を考える
3. 白石 正雄^{しらいし まさお} 7 ページ
 - ・農業基本法改定をどう考えるか
 - ・地方自治法改定をどう考えるか
 - ・駅エレベーター設置とバリアフリー
 - ・泉崎村診療所建設予定地
 - ・学校給食施設建設のあり方
 - ・農業支援と公社設立
4. 長久保 孝行^{ながくぼ たかゆき} 8 ページ
 - ・中学生の修学旅行を海外交流事業へ
 - ・さつき公園駐車場の出入口の新設の提案
5. 鈴木 義男^{すずき よしお} 9 ページ
 - ・村水道石綿管の今後の対応は
 - ・地域おこし協力隊制度の設置、導入はどう考えるか
6. 鈴木 保仁^{すずき やすひと} 10 ページ
 - ・こども・子育て支援
 - ・高齢者・障がい者支援
7. 円谷 亮一^{つむらや りょういち} 11 ページ
 - ・事業用太陽光発電設備導入の課題
 - ・地域おこし協力隊制度の活用を
 - ・ふれあい号・買い物号・お医者さん号

▼一般質問とは
行政のさまざまな課題等について、議員が自らの提言も含めて村に考えを聞くこと。

議会だよりNo.59のお詫びと訂正

下記QRコードを読み取り「No.59」及び「号外」をご覧ください。



泉崎 議会だより 🔍 検索

録画映像はこちらから スマートフォンでも視聴可能！

※アクセス件数

- ・議会会議録
延べ件数 8,023件 (月平均 47.8件)
- ・議会映像中継
延べ件数 8,061件 (月平均 47.7件)



物価高騰対応

安藤 地域振興券の支援ですが、全村民に配付は完了しているのか。また、今後も物価高騰が続く場合、今回のように地域振興券の支援又は給付金の支給など、対策は考えているのか伺う。

村長 地域振興券につきましては、令和6年4月1日現在において、住民基本台帳に登録されている方を対象に、1人5,000円分給付したところであり、対象となった方の人数は6,120人です。

4月16日から22日で1次配達を行い、再配達を含め、4月26日にはほぼ配達が完了



あかほね 議員
あんどう 安藤

したところがあります。

尚、確認が取れていない世帯が4件あり、そのうち3件は外国人の方で、既に国外に出国されており、もう1件につきましては、事情により受け取りができない方となっております。

今回お配りしました地域振興券につきましては、物価高により厳しい経済状況にある生活者及び事業者を支えるため、泉崎村内に事業所を置く商店等で期間を限定して使用出来る泉崎村地域商品券を発行、給付し、村内の地域経済の安定化を図るためのものがあります。

財源につきましては、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しまして、総事業費3,319万6,000円のうち、国庫補助金が1,934万5,000円となっており、残り1,385万1,000円は一般財源となっております。

なお、地域商品券の利用期間は令和6年5月1日から令和6年7月31日迄となっておりますので、使用方法や注意

などを加えまして、同封のリーフレットや村広報紙及びホームページでお知らせしております。

さらに、地域商品券の利用期限の終了近くには、村内放送で利用を促し、広く住民の皆様を活用していただけるよう努めてまいります。

また、今後も物価高騰が続く場合の地域振興券の支援、給付金の支給についてであります。実施する場合は、多くの予算を必要とする事から、国の交付金の支援状況等を注視し、村の財政状況を鑑みながら、実施の可否も含めて慎重に検討して参りたいと考えております。

安藤 受け取りが出来ない方を除いて配り終えているのであれば、安心致しました。是非、国や県の助成金の制度などを活用して、村民の皆さんの生活が少しでも楽になれるようにして頂けたらと思います。

中学校グラウンド脇の通路その後？

安藤 3月に質問いたしました中学校グラウンド脇の通路及び外灯についてですが、その後の進捗状況を伺う。

教育課長 中学校グラウンド脇の通路についてでございますが、3月議会定例会の一般質問でご質問を頂き、その後、村としましても、通路の状況を確認し、どのような整備方法がよいのか、検討を重ね、協議を行ってまいりました。そのような状況を踏まえ、U字溝の蓋の設置や通路に出ている樹木の根つこの抜根を行うなど、通路の環境整備を進める為に、6月議会定例会の一般会計補正予算に排水路蓋設置工事として、予算要求をさせていただいたところでございます。

安藤 通路の件に関しましては、グレーチングなどの対策をしてくれるとのことですが、外灯の件はどうでしょうか。

教育課長 中学校グラウンド脇の通路の整備と併せまして、こちらはさつき公園の駐車場の敷地内になるかと思いますが、具体的には、以前「まことのどんぶり」のお店屋さんがあった裏側の辺りに、外灯の設置を併せて進めて参りたいと考えております。

安藤 私自身も、通るたびに危険だと思っていたので、実現するのであればとても安心致しました。外灯の件ですが、冬季期間になりますと日も短く、暗くなるのが早いので、子どもたちのためにも迅速な対応をお願いいたします。



グラウンド脇の通路

八雲ニュータウン歩道設置の進捗状況は？

加藤 八雲自治組合からの歩道設置の依頼（陳情）について進捗状況を伺う。

村長 八雲ニュータウンの西側の道路、現在花壇として使用している所と児童館へ向かう歩道がない部分への歩道設置の件ですが、現況把握のため現地の状況等を確認したところです。

今後は、陳情の内容を踏まえ、事業費も高額になると想定されるため、各種事業、他要望事業もあるため、財政状況等や優先順位を鑑みながら実施、その時期について検討をしていきたいと考える。



加藤 恵子 議員

加藤 計画的に考えていたただけると私は捉えましたので、分割してもいいので、子ども達・老人の方の安全のため歩道設置、よろしくお願いいたします。

不妊治療助成金足りているのか？ 拡充を。

加藤 不妊治療支援助成金について、県の助成事業と併用して行っている市町村、県南地域1市4町4村の中で行っている本村は素晴らしい。

しかし、助成内容がわかりづらい、そこで伺う。不妊症（妊娠後2回以上の流産・死産を繰り返し、子どもを持ってない場合）この不妊症の治療の助成は本村では行っているのか。

保健福祉課長 本村の助成事業の中に不妊症事業費は助成金の交付要綱は定めていない。

加藤 出産に至らない方の切実な思いを考えると、不妊治療の拡充が必要。ぜひ不妊症

治療も助成してほしいと考える。この支援事業、村のホームページを見てもすぐに出てこない。そこで伺う。村ではこの支援事業を、村民に対してどのように周知させているのか。

保健福祉課長 村のホームページ及び広報紙により周知している。7月の広報紙に掲載を予定。



加藤 せっかくの支援事業、多くの村民・若い世代・他市町村から移住を考えている方に知っていただけよう願う。この不妊治療、遠方への通院する方に交通費の補助はないのか伺う。

保健福祉課長 交通費の補助は対象としていない。

加藤 不妊治療は保険も適用

ごみ置場の問題を考える

されるようになり、個人の負担も軽減されているが、交通費の補助もあると、前向きになる方が増えると思う。

加藤 ごみ集積所の環境衛生問題と改善について、4つに分けて質問する。

1、集落の人口減少、自治組合の非加入者の増加、ごみ集積所の管理が難しい地区がある。村では把握しているのか。

2、そのような地区のごみ置場の老朽化に対し、改築など、村で管理してもらえるのか。

3、ごみの集積所の使用について、自治組合加入者と非加入者でトラブルがある時、村では対処してもらえるのか。

4、ごみの出し方のマナーの悪さが原因で、カラス等に荒らされる、ごみを不法投棄される、資源ごみを持ち去るなどの問題があるが、ごみの出し方の指導や注意喚起の看板の作成・設置を村にお願い

できるのか。

住民生活課長 1、自治組合の運営が、様々な理由で難しくなっているのは承知しているが、具体的な地区などは把握していない。

2、ごみ集積所の設置・維持管理について事項を要綱で定めている。老朽化などの改築は定めていない。各自治組合で負担していただくこととする。

3、相談があれば対応をしている。トラブルに関しては自治組合で解決するのが基本と考える。

4、「資源ごみの出し方」の冊子を配布している。看板作成・設置も要綱の定めにより、自治組合で考える。

加藤 自治組合が主体となつて集積所の問題を解決すべきと、承知しました。ですが、この問題は今までも、これからもずっと続くので、村の環境・きれいな村にするためにも出来ることを、行政と一緒に考えていきたいと思います。

農業基本法改定

白石 食料・農業・農村基本法の改定をどう考えるか。

村長 基本理念に食料安全保障を加え、農業資材の安定供給、農業法人の基盤強化、スマート技術の活用などが盛り込まれた。しかし自給率は低下し、農業従事者も減少、農業農村の弱体化も進み、国民の食の安心安全は危機に直面している。農政が農業農村の実情にあつたものになつていない。原簿瀬長峯地区の大規模ほ場整備は農業の存続をかけた事業と位置づけている。

白石 新基本法には、兼業農家の位置づけがまったくない。



白石 正雄 議員

農業法人の倒産が過去最高、廃業農地の再生、後継者不足問題、地球規模の食料生産の不安定などの対策が抜けている。日本のコメ生産を衰退させた市場原理に対する反省もない。

地方自治法改定

白石 地方自治法の一部改定についてどう考えるか。

村長 公金収納事務のデジタル化などDX対応や、感染症蔓延などの緊急時地域の多様な連携共同などが盛り込まれ、国の指示権が盛り込まれた。一方で2000年地方分権一括法の法定受託事務と自治事務の枠が取り払われたとする意見もある。国の指示が地方自治の本旨に反することの無いよう求めたい。

白石 沖縄に見られるように地元の意向を無視して、国が強権で介入する動きを合法化することになる。このやり方に自治体職員を駆り出すことができることになり、情報シ

ステムの統合などで地方自治を根底から変える危険性がある。

駅エレベーター

白石 駅に設置予定のエレベーターは2つとされているが、これではバリアフリーにならない。現代の新駅は3〜4箇所設置している。自転車も一緒に乗れるものにして、完全なバリアフリーを目指すべきでないか。

村長 バリアフリー基本構想策定協議会の検討結果エレベーターは2つとなった。理由は、設置後の需要面や稼働率を考慮したこと、1基2億円近くの初期費用がかかり、維持管理費用もかかること。

泉崎診療所予定地

白石 医療施設は駅から直接入れて、駅やタクシーの待合室としても使え、他の公共施設も共用できるように複合施設として建設すべきでないか。

村長 基本的には車社会であることから、現時点で駅直結型の診療所の整備は予定していない。

学校給食施設建設

白石 奈良県奈良市の教育委員会が行った中学校19校の30年にわたる試算では、自校方式のほうが経費が少なくなっている。4校の泉崎村では圧倒的に初期投資が少なくて済む、これからでも自校方式に方針を転換するべきである。

村長 9人の議員から共同調理方式が良いという意見をいただいている。給食運営委員会、教育委員会の意見を踏まえ、共同調理方式で事業を進めている。

農業支援と公社設立

白石 振興公社設立についてはこれまで何度も取り上げてきた。県内多くの市町村で各種の公社が作られ稼働している。生産振興の重要ポイント

であり、全国の公社の失敗や成功に学んで設立すべきでないか。

産業経済課長 本村の農業振興基本構想では、育成すべき経営体と経営目標を明確化し、これを核とした産地づくりを進めることとしている。担い手農家の後継者不足と高齢化が深刻であることから、担い手農家新規就農者への支援を強めていく。新規就農支援として年150万円の支援を行っている。新規就農者に対する農機具購入助成として、上限1千万円の国2分の1、県4分の1を実施している。農業者に対する農機具の更新・補修支援は行っていないが、今後検討していく。村独自支援事業は近隣市町村の状況を研究していく。公社の設立については今後検討を進めていきたい。

*その他、行政サービスをわかりやすく網羅したパンフレットの作成や、東京一極集中から田舎暮らしを紹介し、泉崎村に暮らしてもらう構想について提案し、質しました。

中学生の修学旅行を海外交流事業へ

長久保 現在、中学校の修学旅行は関東方面への2泊3日（鎌倉、ミュージカル観劇、ディズニールランド等）が数十年続いています。また村の海外研修旅行はコロナ以降中止されている状況もあり、海外研修旅行の復活を修学旅行にすることを提案します。行先は県が福島空港、台湾便の乗客増を推進していることから「台湾への海外交流事業」とします。近隣では矢祭町、中島村が修学旅行を海外交流事業にしております。



ながくぼ たかゆき 議員
長久保 孝行

グローバル時代である現在は、ネット・SNSなどで海外との交流はあるものの、やはり実際に海外に行つて学ぶ事が重要であると思います。中学生の多様な感性を持つ時期に、海外教育を実施することに村の見解を伺います。

教育長 今日社会がグローバル化していることはご承知しております。「修学旅行を海外交流事業として台湾へ」の件ですが、直接海外で五感を通して体感し、資質を育むことが出来れば素晴らしいことだと思えますが、学校教育の中でも可能であると思いません。また海外での生徒の健康面の負担、渡航中の安全性や緊急時の対応など踏まえ、学校側としても現状の修学旅行を継続していく考えです。

長久保 中学生の海外研修は、今後重要な教育の位置付けになる時代がくる為、村の海外交流事業の復活も含め、今後前向きに検討して頂きたいと思えます。

さつき公園駐車場の出入口の新設の提案

長久保 さつき公園駐車場は、中学生の登下校の送迎場所に利用され、平日の朝夕は混雑します。特に朝の時間帯は産業道路が通勤時間と重なり、中々出れずに出口が渋滞します。送迎する家族には祖父母も多く、中には渋滞のプレッシャーから無理やり出ることもあり、事故に繋がる危険が見受けられます。

そのため、北側（カントリーヴィレッジ側）に出入口を設けることで、少しでも渋滞を緩和できると思えますが、村の見解を伺います。

教育課長 さつき公園駐車場には出入口が2箇所あります。登下校時の混雑する時間帯は多くの車が行き交う事は承知しております。出入口を増やすことによりある程度混雑は解消できると思えますが、それより生徒への指導や保護

者連絡メールにて送迎時の乗降方法や場所について周知し、時間に余裕をもって安全運転に心がけ、事故に遭わないよう周知を図り、安全対策に取り組んでまいります。

長久保 泉崎村も昨年は「交通死亡事故ゼロ3,000日達成」で表彰されており、今後も交通事故防止のため、学校や保護者への継続周知と安全対策に取組むようお願いいたします。



中学校の送迎場所



新たな出入口の提案箇所



中々出れず渋滞に

村水道石綿管の今後の対応は

鈴木 石綿セメント管は、老朽化水道管のうち最も耐震性が低いとされ、漏水防止のために交換が急がれる水道管です。本村で残存する石綿セメント管は村内水道の管路延長の何%くらいか。また、主にどの地区での管理状況か、伺います。

建設水道課長 本村の水道管本管の延長は約6万1,000メートルであります。そのうち、石綿セメント管の延長は約2,100メートル、全体の34%になります。また、



すずき よしお
鈴木 義男 議員

主な埋設場所についてであります。大字北平山の堂ノ上から新田地区にかけて、それから、泉崎字椋内地区、また関和久字中宿地区になります。

鈴木 石綿管は破損率が高く、耐震化や漏水防止のために解消が急がれると思います。今年作成した第6次泉崎村総合振興計画でも、未布設石綿セメント管の更新工事を進め、漏水防止対策で石綿セメント管の計画的な更新と明記してあります。今後の未布設石綿セメント管の更新工事の計画、検討はどうか、伺います。

村長 国土強靱化地域計画や第6次総合振興計画におきまして、石綿セメント管の更新について記載をしているところですが、多額の事業費が想定され、水道会計の資金のみならず一般会計からの補助金も必要になり、財政状況等を踏まえる必要があるため、まだ具体的な更新工事の計画には至っていない状況です。た

だ、石綿セメント管の更新は、本村水道事業における課題でありますので、残存している2,100メートルの更新計画について、検討を進めていきます。

鈴木 水道本管で民有地に埋設されている水道管も多々あり、水道管理設図面は、水道管の管種が不明と記載された図面もあるようです。そういった中、村水道台帳・図面の補正及び整備は大事だと思えます。今後、これらの水道台帳・図面等の補正整備の取組、対応はどうか、伺います。

建設水道課長 過去の埋設等の工事関係書類、また個人住宅等への接続関係書類の残存確認等を行い、判明したものについては定期的にシステムの情報を更新するなど、不明箇所解消に取り組んでいきます。

村内にある石綿管



地域おこし協力隊制度の設置、導入はどう考えるか

鈴木 地域おこし協力隊は、都市地域から、人口減少や高齢化等の進む地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。本村での、今後、この制度の取組、導入はどうか、伺います。

産業経済課長 地域おこし協力隊制度に取り組んでいる自治体から情報を収集し、何を行うか等を明確にし、必要に応じて関係機関と協議の上、地域おこし協力隊制度の活用について、今後検討します。

子ども・子育て支援

鈴木 子ども支援・制度で新たに村独自で協議している支援・制度があるのか伺います。

村長 村独自で新たに協議している支援・制度は特にありませんが、令和6年4月から、矢吹町・中島村及び泉崎村の合同による委託業務で、家庭訪問型子育て支援事業、ホームスタートは、子育て経験のあるボランティアがご自宅を訪問して、お母さんの話を聞いたり、一緒に家事をしたり、お子さんと遊んだりしながら支援する事業となります。また、同じく令和6年4月から、母子保健事業では、低所得妊婦初回産科受診料費用助成事業と妊婦に優しい遠方出産支援事業を実施している。



すずき やすひと 鈴木 保仁 議員

鈴木 こども家庭センター設置について今現在、協議しているのか伺います。

村長 現在、協議、検討を進めており、センター設置に関しては、保健師及び社会福祉士等の専門職の配置が必要となります。専門職の職員が不足している為、職員採用試験で募集を行い、専門職の増員に努めているところであり、体制を整えば設置を進める事が出来ます。また、子ども・子育て支援、児童、家庭及び母子家庭の子どもに関する業務を一つにまとめて、新しい部署の設置も検討しなければならぬと思っております。今後においては、こども家庭センターと子どもに関する部署を一体的に組織する窓口が必要と考えています。

高齢者・障害者支援

鈴木 高齢者による免許返納者に対し、どのような支援、そして、制度があるのか伺います。

村長 高齢者の免許返納者に限定した支援制度は特にござ

いません。ただ、免許を返納された方ももちろん利用できるデマンド交通、ふれあい号も充実させて運行しているところです。村内路線バス3コース運行し、買物、病院等への通院を可能としており、できるだけ不便を来さないように対応している。

鈴木 デマンド交通のコース、そして、時間の変更は、どの時点で行われるのか伺います。

教育課長 泉崎駅を経由地に入れ、3月のJRのダイヤ改正に合わせ、運行時間の変更が必要かどうかの協議を行い、時間を決定しているところです。また、コースの変更につきましては、より多くの方々にご利用していただくために、村民の皆様方のご意見やご要望によりコースを決定し、令和4年2月より現在の3路線3地区に変更し、村内を巡回できるように運行を行っている。

鈴木 高齢者安全運転支援促進事業における対象年齢の変更は可能か伺います。

村長 高齢者安全運転支援促

進事業の対象年齢の変更は検討しておりません。村の事業については、令和2年4月から施行され、現在に至っており、申請者は令和3年度1件だけとなっております。今後は実績を鑑みて、年齢及び期間等を検討する必要があると考えています。

鈴木 高齢者に優しい村づくりをどの様に進めていくのか伺います。

村長 高齢者福祉の充実として「高齢者にやさしいまちづくり」を挙げており、保健福祉課では、住宅改修に際し、平成14年度から高齢者にやさしい住まいづくり助成事業を実施、介護予防と自立した住宅介護の継続を目的としている。ソフト面では社会福祉協議会において、様々な取り組み、健康的自立した生活を送るため、独り暮らしの方を対象に泉寿会の開催、高齢者にお弁当を届ける配食サービス・高齢者男性を対象とした料理教室・安否確認を兼ねたヤクルトの配達・65歳以上の介護保険適用しない方々への家事・清掃・買い物支援を行っております。今後、地域で支え合

う事業の推進として、誰一人として取り残すことのない血の通ったきめ細かな高齢者にも優しい村づくりを進めていきます。

鈴木 障害者総合支援法の理念の元、村独自の支援・制度の見直し、追加など協議しているのか伺います。

村長 村独自の支援ではありませんが、今年度より精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組んでおります。5月には定例の民生児童委員協議会において、村職員が講師となり、研修会を開催したところです。今年度は、社会福祉士・精神保健福祉士の資格を持つ専門職の職員を採用し、保健福祉課に配属しています。地域福祉の向上に努め、住民への支援等の充実を図りたい。



※「ふれあい号」時刻表

事業用太陽光発電設備導入の課題

円谷 出力10キロワット以上の事業用太陽光発電設備は、全国で約69万件導入されている。泉崎村内にある事業用太陽光発電設備の件数は。

産業経済課長 森林については、平成26年から令和5年の10年間で12件。農地に関しては、農業委員会に申請があり県許可となった件数は1件である。

円谷 総務省行政評価局は、自治体の4割超が太陽光発電設備の導入に起因するトラブルを抱えていたとする調査結果を発表した。具体的には、



つむらや りょういち
円谷 亮一 議員

「事業者の住民説明が不十分」、「工事中の敷地から土砂や泥水が発生し、道路、河川、農地などに流入」、「稼働後に事業者と連絡がつかない」などの事例があった。本村における太陽光発電設備導入に起因するトラブルについて伺う。

産業経済課長 現在のところ、トラブル等の発生は確認していない。

円谷 全国各地でトラブルが後を絶たない状況に対応するため、太陽光発電設備の設置を規制する独自ルールをつくっている自治体もある。県内では6自治体、近隣では矢吹町と西郷村が条例を制定している。本村の今後の取り組みについて伺う。

産業経済課長 森林及び農地に関しては、森林法及び農地法に基づき業務を施行しており、大幅な独自のルールを制定することはできないが、軽微な範囲であれば可能。農業委員会としては、太陽光パネルの廃棄計画を提示していたことを申請内容に加えて

いる。

地域おこし協力隊制度の活用を

円谷 本村の基幹産業である農業を守っていくためには担

手の育成が急務である。農業の活性化と地域産業の振興を推進するため、新たな人の流れを創出し、また現在行われている、はにわの里を拠点とした特産品開発などの6次化も含めた分野で活躍できる人材の確保が必要と考える。地域外からの人材を受け入れることで、農業の新しい取組も可能になるのではないかと地域おこし協力隊制度を積極的に活用するべきと考えるが、見解を伺う。

産業経済課長 現在、深刻な問題となっている農業の担い手不足、それに伴う耕作放棄地の増加対策として、原地区及び踏瀬長峯地区において基盤整備に取り組み、法人化による農業振興を促す計画に取り組んでいる。さらに、地域計画により今後の農業への取

組状況を把握した上で、地域おこし協力隊制度の活用と有効性を勘案し、制度に取り組んでいる自治体より情報を収集し、地域おこし協力隊制度の活用について検討してまいりたい。

ふれあい号・買い物号・お医者さん号

円谷 現在、巡回型のふれあい号に加え、デマンド型の買い物号とお医者さん号が運行しているが、それぞれの運行状況と利用者数を伺う。

教育課長 ふれあい号は、月曜日から金曜日まで、午前8時台と10時台に午前2便、村内を3地区に分け運行しており、また午後便は、泉崎駅を出発地点として、1時台から4時台までの4便を運行。買い物号は、月曜、水曜、金曜は村内の商店を回り、火曜と木曜は矢吹町のメガステージまで運行。お医者さん号は、南東北診療所、歯科医院、薬局、接骨院などへの送迎を行っている。

利用者数については、令和4年度、巡回便の年間の利用者数は、午前と午後を合わせて2,185名。買い物号は、合計で年間571名。お医者さん号は、合計で年間425名の方が利用した。

円谷 現在の巡回型をデマンド化し、統一性を持たせることで、利用者の希望に沿ったきめ細やかなサービスが提供でき、さらに費用対効果も高まるのではないかと。

教育課長 一体化させる場合、どのような運行方法により一体化させるのか、また、運行方法を変えることにより利用者の方にとってどのようなメリット、デメリットが考えられるのか等を協議し、また、全国の先進事例や近隣市町村の運行方法等も参考にしながら検討してまいりたい。

円谷 今後、利用者や住民の方からアンケートを取るなど、広く意見を聞くことで、より良いサービスができると思う。

議長杯グラウンドゴルフ大会開催

○5月30日(木)
第28回の議長杯グラウンドゴルフ大会が開催されました。



議長杯グラウンドゴルフ大会参加の皆さん

【試合結果】

男性の部

- 1位 窪木 伸典
- 2位 緑川 武男
- 3位 北澤 洋一

女性の部

- 1位 田崎 ケイ子
- 2位 山内 エイ
- 3位 鈴木 文子



開会式の様子



始球式

議会に届いた請願書・陳情書

件名	結果	提出者	紹介議員
請願書第1号 食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める請願	不採択	福島県県南農民組合 組合長 大竹 利男氏	白石正雄議員
請願書第2号 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採択	福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子氏	白石正雄議員
陳情書第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出陳情書	採択	日本労働組合総連合会福島県連合会 白河地区連合会 議長 藤田 隆司氏	

「議会DXの取り組み」

議会のペーパーレス推進のため、6月定例会よりタブレット端末の使用をスタートしました。DXが議会運営や議会活動に浸透することで、新たな価値や利便性が創出されることを目指します。



常任委員会報告

計画事業の

推進に向けて

経済文教常任委員会

請願第1号、福島県南農民組合組合長大竹利男氏より、令和6年5月20日付で提出のありました請願書「食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書提出の請願」については、令和6年5月29日参議院本会議で可決成立いたしましたことにより、審議の結果不採択としました。

請願第2号、白石正雄議員を紹介議員とし、福島県教職員組合中央執行委員長瀬戸禎子氏より提出のありました「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願については、東日本震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学等を保障するためにも、令

和7年度以降も事業の継続と予算の確保が必要であることから、審議の結果採択としました。

また、所管事務調査として、関係各課へ今定例会に提出されております議案について説明を受けました。

併せて建設水道課より、泉崎周辺地区バリアフリー基本構想について、定期的な進捗状況報告をいただけるよう要請しました。



経済文教常任委員会

災害対策の充実と 人材確保

総務厚生常任委員会

陳情書第2号、日本労働組合総連合会福島県連合会白河地区連合会議長藤田隆司氏より提出のありました、地方財政の充実・強化を求める意見書については、地方公共団体の役割が、多様な社会ニーズへの対応など、極めて多岐にわたり、加えて、急激に進められている自治体システムの標準化や多発する大規模災害に対する防災・減災や災害復旧への対応も迫られる中、地域公共サービスを担う人材は圧倒的に不足しており、職場における疲弊感や日々深刻化しているため、地方財政の充実・強化は不可欠であることから審議の結果、採択といたしました。

なお、関係各課の課長より、令和6年度泉崎村一般会計補正予算（第1号）の詳細な説明をいただきました。

継続調査となっている災害対

策については、避難所のスロップ設置の必要性や火災時の水利の確保について意見を交わしました。また、各課の人員不足については、募集範囲の拡大等の意見も出され、今後も引き続き、検討・調査を進めることといたしました。



総務厚生常任委員会

*** 次期定例会の予定 ***

開会**9月5日(木)**
一般質問**9月10・11日(火・水)**/議案審議**9月13日(金)**予定

広報研修

○7月2日(火)

福島市とうほうみんなの文化センターにおいて、福島県町村議会議長会主催の広報研修会が開催され、議員全員で参加しました。

議会広報サポーターの芳野政明氏より「議会広報の基本と編集」と「議会広報クリニック」について講演いただきました。



第8回 議長杯パークゴルフ大会開催

○7月17日(水)

第8回議長杯パークゴルフ大会が開催されました。梅雨空の下、157名の方が参加し熱戦を繰り広げました。



【試合結果】

男性の部

- 1位 金澤 睦男(泉崎)
- 2位 吉田 定(いわき)
- 3位 松本 兼夫(泉崎)
- 4位 佐藤 喜志郎(泉崎)
- 5位 芳賀 昭二(泉崎)

女性の部

- 1位 黒木 春美(郡山)
- 2位 芳賀 年子(泉崎)
- 3位 佐川 房子(泉崎)
- 4位 鈴木 代志子(西郷)
- 5位 赤城 紀子(白河)



総合優勝 金澤 睦男さん

金澤さんコメント

同伴メンバーに恵まれ、うまくプレーすることができ、おかげさまで優勝できました。

編集後記

「暑いとけちゃうよー」と娘。「アイスじゃないからとけないよ」と私。笑

夏本番?皆様、夏バテなどしていませんか?夏と言えば、お昼に素麺。そこで豆知識!そうめんとはやむぎの違いは?

答えは、単純に太さの違いだけなのです。

ひやむぎは1.3mm〜1.7mm。そうめんは1.3mm未満と決められているそうです。

そこで私のイチ押し、素麺レシピ、つけダレを紹介いたします。

サバみそ煮缶・トマト・きゅうり・めんつゆ・水・すりゴマ・薬味 食べやすい大きさに切って混ぜるだけ。ネギ・大葉などお好みの薬味を入れて、冷たい素麺をつけてさあ召し上がれ!! (文責 加藤)

編集・発行責任者 岡部 英夫

編集委員会

- 委員長 加藤 恵子
- 副委員長 岡部 亮一
- 委員 白石 正雄
- 委員 鈴木 義男
- 委員 木野内 悟